

— 航空保安 —

一般財団法人航空保安事業センター
保安企画部企画調査課長

金澤 三津恵 Mitsue Kanazawa

1. はじめに

空港においてX線検査装置を使用する検査業務は主に2種類あり、1つは国際線到着時に実施される税関検査である。もう1つは、国内・国際線出発時の不法妨害行為を防止する為に行う航空保安検査である。航空機に搭載する手荷物及び搭乗する旅客に対し安全確認を行い、爆発物や燃えやすい物、ハイジャックやテロを引き起す原因となる物を排除することが目的である。

本稿では、最近のコロナ禍により新たな航空保安教育で求められていることを紹介する。

2. 空港の保安検査

現在、空港の保安検査場では、電波（ミリ波）やX線等の様々な電磁波を応用した機器が導入され、確実な検査を実施するための取り組みがなされているが、最終的な判断（安全確認）はやはり航空保安検査員が行っている。具体的には直接手荷物を開けて内容品を確認する方法や、ボディチェックと言われる手指による物理的な接触を伴う検査方法である（図1）。

航空保安検査を担う者として、一番起こしたくない事態はハイジャック等の不法妨害行為である。一度でも発生を許してしまうとその影響は甚大であり、航空業界全体として、9.11（2001年に発生した米国同時多発テロ事件）のような事件は二度と発生させないと

いう強い想いでテロ対策を講じている。

9.11の発生を受け、航空保安検査の現場においては様々な予防策を講じた。新しい機器の導入や検査方法が採用され、変化の大きな時期であった。それでも、9.11が発生した2001年から数年間の旅客数は横ばいで推移した。

3. 新型コロナウイルスの影響

現在直面している問題は、2019年に確認された新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症による急性呼吸器疾患（COVID-19）の世界的な流行による航空需要の急減である。

ICAO^{※1}が2020年6月に発表した最新の予測によると、2020年の旅客数は前年比で45%～62%のマイナスとされ、世界規模で航空需要の急激な落ち込みが発生している（図2）。

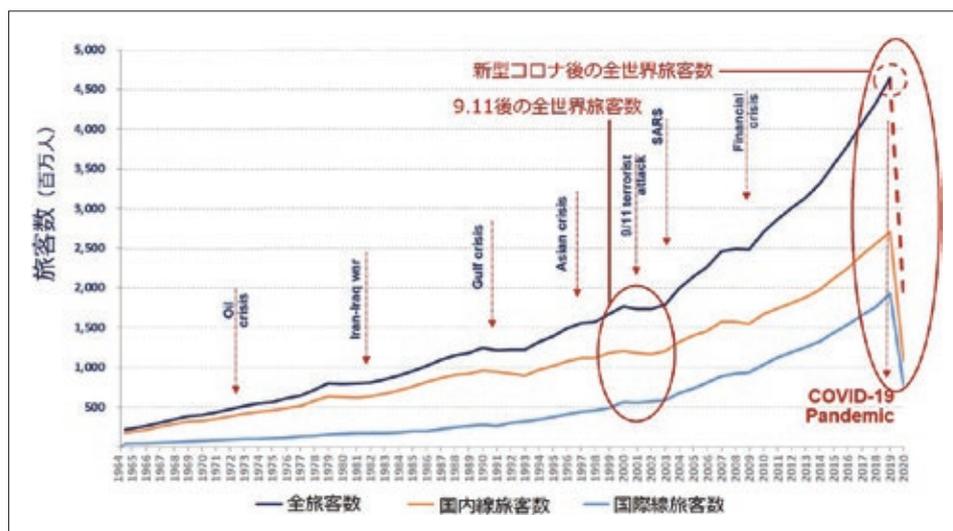
テロ事件と感染症の世界的な流行を単純に

図1 空港の保安検査場



※1
ICAO
国際民間航空機関: International Civil Aviation Organization

図2 航空機利用旅客数推移（全世界）1964-2020



比較することは出来ないが、旅客数の推移及び業界全体へ与えた影響はとて大きく、回復の見通しも立たないのが現状である。日本国内の取り組みとしては、2020年5月4日に改訂された政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（新型コロナウイルス感染症対策本部決定）等により、各関係団体等は、業種や施設の種別毎にガイドラインを作成するなど、自主的な感染予防のための取り組みを進めることとなり、この感染症とどのように付き合っていくか早急な対応が求められている。航空保安においてもガイドラインの作成が進み、混乱なく現場へ水平展開することが課題となり、今後は衛生管理を前提としたテロ対策を講じていくことになる。

日本における航空保安検査は、その品質の維持向上はもちろん、いかに円滑に検査を実施するか、例えば接客に留意し、旅客にストレス無く保安検査を受けてもらえば、結果として保安検査を実施する側にとっても円滑化の観点から、メリットがあるとされていた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、空港の保安検査場においてどのような新型コロナウイルス感染症対策がとられているかという点が旅客の安心・安全につながるという新しい考え方が加わった。

4. アフターコロナの保安教育

航空保安検査員の保安教育については、爆発物等を排除する技能はもちろん、保安検査場を清潔に保つために、今後は衛生管理についても教育に含めることが求められている。それと同時に、人と人との間に一定の距離をとることが新型コロナウイルス感染症対策に有効であることが判り、従来の物理的な接触を伴う航空保安検査方法を見直すことも必要である。

従来、航空保安検査員は、テロを未然に防ぐ為の検査技能と、旅客対応の為の接客が求められてきたが、アフターコロナの航空保安は、検査技能と衛生管理を新たな二本柱として取り組んでいくことになる。今後は『テロ対策を講じなければ、航空機は飛ばせない』から、『衛生対策を講じたうえで、テロ対策を講じなければ、航空機は飛ばせない』となり、その為に必要な教育を実施していくことになる。

かなざわみつ

2003年財団法人空港保安事業センター（現 一般財団法人航空保安事業センター）入所。2009年 ICAO 航空保安プロフェッショナルマネージャー資格取得。2009年 ICAO 航空保安国際監査官資格取得。2011年 ICAO 航空保安インストラクター資格取得。航空保安分野における監査や教育に携わる。